

市長行政報告

(令和4年12月5日)

◎ 新型コロナウイルスワクチン接種

オミクロン株対応ワクチンにつきましては、年内の接種完了に向け、前回の接種から3か月以上経過した12歳以上の方を対象に接種を進めております。市民の皆さまには広報紙やホームページ、LINEにて早期接種を呼びかけ、希望される方が年内に接種できるよう、集団接種の開催日を増やして対応しております。また、生後6か月から4歳児までを対象とした乳幼児接種が開始となったことを受け、11月8日に本市の対象者2,847人に接種券を送付いたしました。

今後も安心・安全に接種を受けていただけるよう、体制を整えながら対応して参ります。

◎ 企画部

国のマイナポイント事業第2弾実施を受け、市役所3階に窓口を設置の上、ポイントの申込支援を行っております。11月25日時点の利用者数は延べ8,210人となっており、引き続き支援を実施して参ります。

◎ 市民環境部

10月23日に、子どもたちが香芝市内のお仕事を体験できる「かしばのしごと展2022」が3年ぶりに対面で開催されました。参加した約400人の子どもたちは、真剣なまなざしと元気いっぱいの笑顔で「仕事をする→お給料をもらう→買い物をする」という社会の仕組みを学び、また、秋の開催である今回は、お米と舞茸の収穫も体験することができました。

11月12日に開催いたしました「香芝ウォーク2022」には、市内外から約300人の参加がありました。今年はJR志都美駅から志都美神社や近畿自然歩道、箕尾池を通り、近鉄関屋駅までの約9キロのコースで、当日は天候に恵まれ、赤く色づき始めた風景を味わいながらウォーキングを楽しんでいただきました。

市内中小企業者の電気料金の一部補助を目的とした「中小企業物価高騰対策支援金」につきましては10月末で受付を終了し、718件、約67,000,000円の申請があり、11月25日時点で554件、計56,939,900円を給付いたしました。

◎ 生活安全部

防災関係といたしまして、以前より進めて参りました避難所となる小・中学校における「マンホールトイレシステム」の整備を、今年度は旭ヶ丘小学校において実施し、9月に4基の設置が完了いたしました。災害時における避難所の公衆衛生の観点から、引き続き整備を進めて参ります。

消防関係につきましては、11月9日に「秋季防火啓発活動」の一環として、香芝市消防団、香芝消防署、香芝警察署が協力して消防車両及び警察車両で巡回する「防火宣伝パレード」を実施いたしました。

◎ 福祉部

今年は地域福祉の担い手である民生委員児童委員の一斉改選の年にあたることから、感謝状贈呈並びに委嘱状伝達式において謝意を伝達し、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたしました。

コロナ禍における支援金・給付金といたしまして、11月25日時点で、「生活困窮者自立支援金」につきましては203世帯に対し計44,020,000円を、「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」につきましては10月末で受付を終了し、6,566世帯に対し計656,600,000円を、「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」につきましては2,265世帯に対し計113,250,000円を、それぞれ支給いたしました。

子育て世帯に対する支援策として、市内在住で私立保育園やこども園等に在籍する児童に対して、給食費相当額を昼食支援金として給付しております。第3学期分も引き続き実施し、子育て世帯の負担軽減を図って参ります（市内の公立校に在籍する児童生徒の給食費無償化及び市内在住で県立学校や私立学校などに在籍する児童生徒の昼食支援金につきましては、教育部の報告をご参照ください）。また、11月15日には香芝市輝け子どもの未来応援デ

デジタルギフトとして、市内在住の対象児童14,716人に一人あたり5,000円分のクオカードペイを発送いたしました。育児用品や学用品などの購入に役立てていただければと考えております。

毎年11月は「児童虐待防止推進月間」に位置づけられております。市内の保育所、幼稚園、こども園、学校その他関係機関に子ども虐待防止のシンボルであるオレンジリボン及びリーフレットの配布を行うとともに、新たに福祉センター1階ロビーにオレンジリボンツリーを設置し、市民の皆さまから子育てに関するメッセージをいただきました。

◎ 健康部

出産後1年を経過しない産婦及び乳児に対する産後ケア事業につきましては、4月に事業を開始して以降、11月25日時点で延べ23件の利用があり、利用者からは「利用して良かった」や「満足」との声をいただいております。11月25日以降も9件の予約が入っており、今後も支援を必要とされる方がサービスを適切に利用できるよう、周知に努めて参ります。

◎ 都市創造部

今年度におきまして、奈良県と本市の共同により、市内の大規模盛土造成地につき、委託業者による現地調査を実施いたしました。奈良県が行った第1次調査により本市では45箇所の大規模盛土造成地が抽出され、目視による調査を実施いたしました。今後は本調査結果をもとに、さらに詳細な調査が必要な箇所の有無につき、奈良県と協議を進めて参ります。

「香芝市緑の基本計画（平成12年3月策定）」の改訂に向け、10月12日に第2回香芝市みどりの基本計画策定委員会を開催し、基本方針に基づく多様な施策等につき委員の皆さまにご審議いただきました。今後はパブリックコメントを実施した上で、計画案を取りまとめ、令和5年3月末の基本計画案策定を目指して参ります。

10月1日より観正山近隣公園のグラウンドを一般開放しております。また、それに伴い利用者の利便性向上及び維持管理を図ることを目的とする観正山近隣公園協議会を設置いたしました。民間の団体や市民の皆さまが共存

して利用できるグラウンドとして、今後も地域のにぎわいのある公園づくりを目指して参ります。

平成28年度より継続して取り組んでおります真美ヶ丘幹線の歩道のバリアフリー化工事につきましては、歩道植栽の撤去、段差解消及び視覚障がい者用誘導ブロックの設置が完了いたしました。今後も歩道を利用されるすべての皆さまがスムーズに移動できるよう歩行空間の確保に努め、重点整備地区内の歩道のバリアフリー化を推進して参ります。

道路新設改良事業につきましては、密集市街地における防災性及び住環境の向上を図り、安全で快適なまちづくりを推進するため、優先度の高い箇所から道路の新設・拡幅整備に取り組んでおります。狐井地区につきましては、関係権利者と継続した協議を行っており、10月には1件（3筆）の土地売買契約及び補償契約の締結が完了いたしました。引き続き、事業用地取得を進めるとともに、道路拡幅工事を実施して参ります。

◎ 上 下 水 道 部

上水道事業につきましては、物価高騰対策として水道料金の基本料金2か月分免除を実施しており、10月検針地域分は完了、11月検針地域分は12月に完了予定となっております。また、安全で良質な水の安定供給のため、管路更新計画に基づき、布設替え並びに管網整備による耐震管の埋設整備を継続して進めております。

公共下水道事業につきましては、健全で快適な生活環境の整備と公共用水域の水質保全を図ることを目的に管渠新設工事及び管渠維持工事を進めており、令和4年10月末現在の普及率は77.0%、水洗化率は90.9%となっております。今後も効率的に整備を推進し、普及率及び水洗化率の向上に努めて参ります。

◎ 教 育 部

学校施設の整備につきましては、香芝中学校トイレ改修工事Ⅰ期が竣工し、三和小学校受変電設備更新工事に着手しております。今後も引き続き安全、安心な学校施設の整備に努めて参ります。

子育て世帯に対する支援策として、市立小・中学校及び幼稚園、保育所、こども園に通う児童生徒の第2学期分の給食費を無償化しております。また、市内在住で県立学校や私立学校などに在籍する児童生徒の第2学期分の給食費相当額を昼食支援金として給付しております。給食費の無償化、昼食支援金の給付ともに第3学期分も引き続き実施し、子育て世帯の負担軽減を図って参ります。

今年度の少年の主張作文コンクールには、市内在住及び在学の児童生徒から3,754件の応募がありました。優秀賞10作品につきましては青少年健全育成市民集会の場におきまして、表彰式及び発表会を開催いたしました。

市の文化芸術の更なる振興を図るため、中央公民館、ふたかみ文化センター、二上山博物館及び市民図書館が連携し、11月5日から21日にかけて、総合芸術イベント「かしばアートウィーク2022」を同センターにて開催いたしました。期間中は美術展覧会のほか、ワークショップや講演会、障がい者の美術展等を実施し、多くの方に芸術に触れていただくことができました。

二上山博物館では、開館30周年記念特別展「鋳物師(いもじ)の里 五位堂 藤原定次(ふじわらのさだつぐ)―津田家の新発見資料から―」を12月25日まで開催しており、展示資料はいずれも民俗文化財として非常に価値があるものです。本展覧会を機に、本市の重要な産業であった鋳物業の具体的な動向と、それを担った鋳物師に関心を寄せていただければと思います。

市民図書館では開館30周年記念事業として、10月に「オリジナルエコバッグを使った本の福袋」や「万葉集・詠人たちの衣装展」などを開催いたしました。また、11月より、香芝について心に残る思い出を募集する「かしばアーカイブ～このまちの「思い出」のこし～」事業を開始いたしました。お寄せいただいた思い出は地域の資料として残し、後世へ継承して参りたいと考えております。